

「下田の杜」の生物多様性が認められ、  
環境省の「自然共生サイト」に認定されました。  
「酒井根地域の宝」が「国の宝」となり  
さらに、国際デビューが予定されています。

「自然共生サイト」は、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする世界目標（30by30）の達成に向け、国が認定するものです。

環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組を令和5年度から開始し、下田の杜が申請した結果、令和5年10月6日に「下田の杜」が環境省の認定する自然共生サイトに認定されました。

下田の杜の生物多様性とその維持保全活動に、そして文化資源の保全、教育支援活動などを含めて下田の杜の環境保全活動が認定を受けました。

○審査委員会からの意見

<p>「認定」に相当する にあたっての主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●全国のモデルとなる良い事例と思う。</li><li>●貴重な里山的環境が植生管理や外来種の駆除など適切な方法で維持されており、モニタリングによって多くの希少種も確認されている。多様な環境を残す配慮がなされており、継続を期待している。</li><li>●都市公園・都市緑地制度との連携によって、まちなかに残る里山環境の保全活用を進める活動であり、意義深い。活動の成果、経験について広く情報発信していくことも重要と考えられる。</li><li>●雨水浸透型の都市づくりの検討など、柏市の施策とも連携しながら、湧水の保全回復に取り組むことも期待される。</li></ul>
---------------------------------	--

なお、今後、保護地域との重複を除いた区域を、OECM (Other Effective area-based Conservation Measures : 保護地域以外で生物多様性保全に資する区域) として国際データベースに登録することを予定しています。

参照：自然共生サイト | 30by30 | 環境省

